



本日のプログラム

- 「ガバナー公式訪問」
- 「第一回クラブアッセンブリー」

次週のプログラム 7月29日(火)

- 「五十嵐稔・國谷丸出航記念 夜間例会」
- 於 ブルームーン

ロータリーをもっと学ぼう明日のために

2014~2015年度 会長 五十嵐 稔

- 例会場/ホテル函館ロイヤル TEL(0138)26-8181(代)
- 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30
- 事務所/ニチロビル4F TEL(0138)23-3870 FAX(0138)22-2251
- 会長/五十嵐稔 ●副会長/森元浩 ●会長エレクト/宮崎あけみ
- 幹事/國谷大輔 ●副幹事/佐藤美子
- 友好クラブ/青森東ロータリークラブ・長崎東ロータリークラブ

第2763回例会 2014年7月15日(火) 天候 晴

月間テーマ

■ロータリーソング それでこそロータリー

■司会 五十嵐 稔 会長

■函館五稜郭RC 上加 淳悦 氏

■新会員 石川 昭信氏、氏家 博則氏

■奨学金学生

遺愛女子高等学校 2年 大久保 明香さん

■会長報告

1、新会員紹介

石川 昭信氏

推薦者

宮崎 あけみ会員

氏家 博則氏

推薦者

佐藤 雄喜会員



2、函館セントラルRCより創立10周年式典並びに祝賀会に際しましてのお礼状が届いております。

3、次週例会はガバナー公式訪問ですので出席くださいますようお願い申し上げます。

■委員会報告

1、青少年奉仕委員会/長谷川委員長:奨学金を支給いたします。

2、会員増強委員会/時田委員長:13日札幌にて開催されました地区会員増強セミナーへ宮崎会長エレクトと参加してまいりました。

■幹事報告

1、次週クラブアッセンブリー11時より当ホテルにて開催いたしますので出席者をご確認ください。

「八甲田山雪中行軍遭難事故から学ぶ」

工藤 隆紀 会員



皆様、映画「八甲田山」はご存知でしょうか？ 見たことない？ 西暦1977年、昭和52年、今から37年前に放映された興行収入25億円(実際の雪中行軍とは違う部分あり)。この映画は明治35年に実際に起

こった(今から112年前)「八甲田山雪中行軍遭難事故」。

原作:新田次郎「八甲田山死の彷徨」を映画化。

【青森歩兵第5連隊】

目的/ロシア軍侵攻想定での物資輸送調査(明治37年日露戦争)

規模/210名、ソリ15台(米、薪、缶詰、漬物、鍋、釜)

行軍内容/青森⇄田代 1泊2日 23km

実施命令/行軍4日前

1月23日(明治35年)/午前6:55出発 午後:ソリ隊2時間遅れ⇒夕方ソリ放棄。午後9時:第一露營(雪濤2m)

1月24日/午前2時:凍傷者続出懸念から帰營決定し出発。道を誤り前後不覚の状態⇒遭難。第二露營。寒さ+不眠不休+絶食状態。第一露營地とは700m。

1月25日/凍傷者続出の為午前3時出発。コンパス凍りつく。「天は我々を見放した!」⇒この一言で…。第三露營。旭川では-41℃の日本最低気温記録の大寒波。

1月26日/夜明けに部隊出発の合図無く出発。生存者60名程度。

1月27日/早朝:伍長が危急伝達の命を受ける。生存者17名。午前10時:救援隊が後藤伍長発見。豪雪の中佇立し仮死状態⇒11分後蘇生。

5月28日/最終遺体収容。

生存者/11名:無傷3名。8名は凍傷により手足の切断。

失敗要因/①未曾有の寒気団。青森市内は-12℃。山岳部では-20℃とも。②冬山登山の防寒ではない。例えば「軍手1足」③指揮官は大尉。ただ行軍に随行した大隊本部の少佐が独断で指示も…。④指揮官が直前3週間前交替。日帰予備演習(小隊編成。晴天)。実施命令4日前で準備不足。⑤参加者の殆どは東北出身者も厳冬期八甲田山の防寒知識なし。前日壮行会⇒深夜まで飲んでいた兵士も。

【弘前歩兵第31連隊】

目的／雪中行軍方法等の研究。

3年がかり

規模／38名（志願者）

行軍内容／弘前⇒三本木（十和田）⇒田代⇒青森⇒弘前

10泊11日 224km

実施命令／行軍1ヶ月前。各村に食糧、寝具、案内人調達。

1月20日（明治35年）／午前5:20出発（弘前）～午後3:20着（小国）6里半

1月21日／午前8:00出発（小国）～午前11:40着（切明）2里

1月22日／午前6:30出発（切明）～午後2:50着（銀山）4里 積雪7m つまごに唐辛子+油紙+靴下3枚 民泊

1月23日／午前7:00出発（銀山）～午後4:27着（宇樽部）4里半 気温-9℃ 一晚中暴風 民泊

1月24日／午前6:30出発（宇樽部）～午後6:50着（戸来）6里 気温-16℃ 民泊

1月25日／午前7:30出発（戸来）～午後4:11着（三本木）7里 （24、25日で青森隊は道迷い多数死亡）

1月26日／午前8:00出発（三本木）～午前11:00着（増沢）3里 民泊

1月27日／午前6:30出発（増沢）～午前10:50着（大台中）5里 田代までは2里。午前10:58出発（大台中）～午後9:00田代発見できず露営（雪濤4m）。

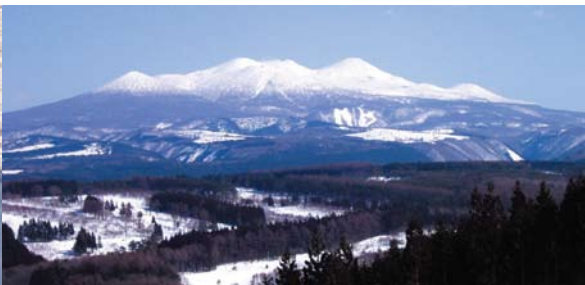
1月28日／午前4:07出発（露营地）～午前6:02着（田代）小屋：交替で暖取 餅食。午前8:07出発（田代）～午後1:05着（鳴沢）「天に勝とうではないか！」

1月29日／～午前2:14着（田茂木野）40数時間不眠。休憩後出発 午前7:00着（青森）民泊

1月30日／午前7:00出発（青森）～午後4:08着（浪岡）民泊

1月31日／午前7:30出発（浪岡）～午後2:05着（弘前）弘前市民熱狂的な出迎え 弘前到着11泊12日

生存者／途中で足を痛めた1名を途中帰還させた以外は全員無事帰還



成功要因／①少数精鋭で統率が継続された（青森出身者多数。体格等選定）。②指揮官が雪中行軍経験済みで冬山等を熟知しており部下全員に周知徹底された。（荷物最小限。食糧、宿泊、案内人は民間）③指揮官の適切な判断（4m雪濤。むやみに彷徨せず）

「吾人若シ天ニ抗スル気力ナクンバ、
天ハ必ズ吾人ヲ亡サン、諸氏夫レ天ニ勝テヨ」

2つの雪中行軍の違いは指揮官のリーダーシップに大きく左右されたと思う。

①事前情報収集力：部下にも命じてあらゆる外部情報を収集し、準備周到に動いている。大敵は汗による凍傷。

②上官への直言、説得力：青森は説得力に欠けた。弘前は知識、経験があり説得力もあった。（青森隊：少数×、案内人×、ソリ放棄×、雪濤出発×）

③指揮官の気魄：青森は「天に見放された」。弘前はこれから八甲田越えをする正念場に「天に反抗するくらいの気概を持たない事にはこの過酷な大自然に敗れてしまうであろう。諸君、天に反抗して勝たなくてはならない」と自分自身を奮い立たせると同時に部下兵士の士気を高めた。

結びに、各企業に置き換えてみると、自分の企業・組織だけでは限界を感じる場面もある。その場合には、外部の異質な情報、経験、知識を採り入れる事により、硬直した組織にはそれが刺激になり、様々な問題を解決する手段に成り得ることを付け加え卓話を終了します。

■ニコニコボックス

五十嵐稔会長、國谷幹事 工藤会員、本日卓話よろしくお願ひします。新会員石川さん、氏家さん、ようこそ。入会どうもありがとうございます。

宮崎あけみ会員 新会員石川さんをよろしくお願ひします。

松山会員 私の生涯はじめての例会運営委員会のはじめての卓話者、工藤会員卓話よろしくお願ひします。

■広告料

（株）ファインズやまや 山谷譲治会員

■出席報告

- ・7月15日（火） 50名中出席35名（免除3名）
- ・7月1日（火） 84.4%

市内他クラブ プログラム

7月23日（水） 函館北RC ガバナー公式訪問
 7月24日（木） 函館RC ガバナー公式訪問
 7月25日（金） 函館五稜郭RC ガバナー公式訪問
 7月28日（月） 函館亀田RC 夜間例会
 ◆ テレフォンサービス 26-3170 ◆

安田ハウジングサービス(株)
 安田 真也 会員
 千歳町9-20 電話 26-2327

(株)北海道新聞 安田販売所
 安田 雄二 会員
 神山2-9-3 電話 51-0353